岩盤ボーリング柱状図

調査名	その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	支川1-5-No.1	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18′ 30.8100″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020／10／31～2020／11／ 4	東経	132° 30′ 43.0300″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 65.73m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0 / エンジン：ヤンマーNFAD8 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂	褐灰								細～粗砂主体。礫はφ2～5mm程度の亜角礫主体で，しばしば20～30mm程度のものが混じる。表層は植物片混入する。GL-1.5～1.6m付近，L=3cmの花崗岩礫が混在する。	11/ 4 0.53
2	63.08	2.65												11/ 4 1.24
3				花崗岩	淡灰褐	w3	h2	B	Ⅲ	c	CM	7 [0] (100)	粗粒花崗岩。岩級区分はCM級。岩芯硬く，ハンマー打撃で金属音を発する。	
4						w2				b		13 [13] (100)	層上部はコア肌粗い。片状～短棒状コアで採取され，亀裂間隔は5～10cm程度。縦亀裂が顕著に認められる。	
5												33 [53] (100)	GL-3mまではやや風化が強く，コアの褐色化が見られる。亀裂間に粘土状の充填物が認められる。	
6												19 [46] (100)		
7	58.73	7.00										18 [30] (100)		
8														
9														
10														
11														
12														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
15	1.15	15		
	1.45	300		
5	2.15	5		
	2.45	300		
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
			シングル打込み	0	0	0	W0	0
	450	66／ケーシング	ダブル／ｻﾞｲﾔ	0	150			
10 31						0	W3 4	4
	330	66	ダブル／ｻﾞｲﾔ	0	180			
11 4								